

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	造形学 3
<b>科目基礎情報</b>				
開設学科	CG映像科	コース名		開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 45時間
単位数	1単位	授業形態	実習	
教科書/教材	教材データは毎回配布、使用ソフトウェアはその都度指示する。			
<b>担当教員情報</b>				
担当教員	関	実務経験の有無・職種	有・アートディレクション	
<b>学習目的</b>				
<p>モーショングラフィックスの概念を理解し、視聴者にとってのしくわかりやすく伝えるための具体的な方法をAfterEffectsを通して学ぶ。また、対象に応じて求められる訴求とアプローチ、そのための方法を学ぶ。多様な現場でその時々求められる目的にあった実際の方法を学び、現場に対応できる能力を身につけることをねらいとする。</p>				
<b>到達目標</b>				
<p>以下の3点の能力を獲得することを目標とする。</p> <p>①実習で学んだAfterEffectsについて、課題制作を通してさらに深く理解する。</p> <p>②各自の制作の中で効果的に活用し、体得したスキルを作品に生かす。</p> <p>③様々な展開を理解し、目的にあった構成を立案できる。</p>				
<b>教育方法等</b>				
授業概要	PhotoshopやIllustrator、3Dソフトとの連携を通して、柔軟に素材を作成する方法を学んでいく。テロップアニメーションやモニターグラフィックスの課題を制作しながら手法を学ぶと同時に、効率的に扱う方法も整理しながら授業展開する。最終的にテーマと構成を理解したうえで効果的なデザインやアニメーションになっているかを評価する。 *各自の制作過程でそれぞれに合ったアイデアやアドバイスを行う。			
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの移動に注意が必要、AfterEffectsの上位バージョンで作業したファイルは下位バージョンで開けない。また、自宅などで環境がある場合、制作したファイルは素材も持参しなければ学校で開けない。</li> <li>授業日数の4分の3以上出席しない者は評価しない（不合格とする）。</li> </ul>			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	80%	課題作品の仕上がりにて評価する	
	小テスト	0%	実施しない	
	レポート	0%	実施しない	
	成果発表 (口頭・実技)	0%	実施しない	
	平常点	20%	積極的な制作態度、授業態度によって評価する	
<b>授業計画（1回～15回）</b>				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	モーショングラフィックス①	テキストアニメーションの作成方法の理解		
2回	モーショングラフィックス②	テロップの作成方法の理解		
3回	モーショングラフィックス③	ロゴアニメーションの作成方法の理解		
4回	モーショングラフィックス④	タイポグラフィの仕組み、構築方法の理解		
5回	モーショングラフィックス⑤	タイトル（文字レイアウト、アニメーション）の作成方法の理解		
6回	モーショングラフィックス：課題①	これまでの学習成果をふまえた課題作品制作を行う		
7回	モーショングラフィックス：講評①	前回の成果を踏まえ、課題作品の修正/ブラッシュアップを行う		
8回	モーショングラフィックス⑥	3Dモーショングラフィックスの技法を理解する		
9回	モーショングラフィックス⑦	AfterEffectsでの基本的なエフェクト設定方法を理解する		
10回	モーショングラフィックス⑧	AfterEffectsでの基本的なパーティクルの操作、エフェクトの作成方法を理解する		
11回	モーショングラフィックス⑨	モニターグラフィックスの構築方法の理解		
12回	モーショングラフィックス⑩	これまでの学習成果を踏まえ、モニターグラフィックスの課題作品制作を行う		
13回	モーショングラフィックス：課題②	前回までの作業結果を踏まえ、モニターグラフィックスの課題作品制作を進める		
14回	モーショングラフィックス：講評②	前回の成果を踏まえ、課題作品の修正/ブラッシュアップを行う		
15回	モーショングラフィックス⑪	これまでの課題作品をまとめ、デモリールの制作を行う		